

令和7年度 第4回 都田小学校 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月27日（木） 12時45分から15時30分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 小林 宗吉、山下 英治、波多野 千津子、森上 茂美、
鈴木 智江、内山 眸、渥美 渡
- 4 欠席委員 影山 善久
- 5 オブザーバー 伊藤 賢典（都田協働センターCS 担当）
- 6 学 校 松下 欣美（校長）、高林 秀仁（教頭）、船木 華名子（生徒指導主任）
杉浦 ひとみ（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 牧野指導主事
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 杉浦 ひとみ
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内山委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - （1） 令和7年度の学校運営基本方針について
 - （2） 学校いじめ基本方針について
 - （3） 学校運営協議会自己評価について
- 12 会議記録
司会の教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1） 令和7年度の学校運営基本方針について
議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和7年度の学校運営基本方針について説明があった。それを受け、委員からは、以下の意見が挙げた。
【Aグループ：小林委員、波多野委員、鈴木委員、渥美委員】

- ・キャリア教育を推進していくことはとても良い。子供たちが自分の将来のことを考え計画を進めていく時代。
 - ・縦割り班活動の中での子供たちは学年を超えて仲良く、とても楽しそう。しかし、一歩外に出て環境が変わったときが大変なのではないか。
- 【Bグループ：森上会長、山下委員、内山委員】
- ・知・徳・体を重点目標として学び合う子が育ったらとても素晴らしい。

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

（２） 学校いじめ基本方針について

議長の指示により、生徒指導主任の船木から、別紙資料に基づき本校においてのいじめに対する取り組みについて説明があった。それを受け、委員から、以下の意見が挙げられた。

【Bグループ：森上会長、山下委員、内山委員】

- ・いじめの早期発見、未然防止のために、はままついじめアンケートはとても大切である。

【Aグループ：小林委員、波多野委員、鈴木委員、渥美委員】

- ・いじめの定義がとても難しい。自分がやられて嫌なことは、他の人にはしなないということを、１年生のうちから伝えていくことが大切なのではないか。

（３） 学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、教頭から、本年度立てた目標と評価項目について説明があった。それを受け、委員から、以下の意見が挙げられた。

＜評価項目１＞学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・キャリア教育の必要性について理解できた。
- ・立場の違う方とさまざまな意見交換ができたので、よく熟議できたと思う。
- ・いじめ防止対策に子供との個別面談を取り入れて、学校体制で取り組んでいることが理解できた。

＜評価項目２＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校側から学校評価の結果に基づき、今後取り組んでいきたい内容が示されたので、委員皆でそれについて熟議を進めることができた。
- ・行事や授業参観をしたことで、子供たちの様子や学校運営の方針に沿った取り組みが行われていることが理解でき、熟議が進められた。

＜評価項目３＞協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・HPで積極的な発信が行われていたと思う。

- ・「コミスクだより」をホームページだけでなく、地域に回覧することで、活動をもっとよく知ってもらったほうが良い。

<評価項目 4>今年度の取り組みの評価を踏まえた来年度の目標（取り組みの重点）

- ・学校支援活動をより積極的・自発的に行いたい。その結果を振り返ることで、活動を充実させていきたい。

（４）その他報告事項

教頭から、資料に基づき夢育やらまいか事業の進展状況についての説明があった。また、次回会議は、2025 年 5 月 15 日（木）から会議室で開催する趣旨の報告があった。